

令和5年10月26日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師 会 長

松 本 吉 郎

(公印省略)

「日本地域包括ケア学会 第5回大会」の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記大会を日本地域包括ケア学会との共催で開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。大会当日は、医療・介護関係職種等を対象に、日本地域包括ケア学会の副理事長を務める松田晋哉先生の基調講演のほか、2つのシンポジウムが行われる予定です。

なお、今大会は、会場の定員は100名としたうえで、日本医師会館 小講堂とオンラインのハイブリッド形式での開催となります。お申込み方法等の詳細につきましては、添付の大会チラシまたは学会ホームページをご確認下さい。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、郡市区医師会および会員への周知方につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時：令和5年12月17日（日）13：30～17：30

開 催 形 式：日本医師会館 小講堂とオンライン（ZOOM ウェビナー）
のハイブリッド開催

プログラム・お申込み方法等：大会チラシまたは学会ホームページをご確認下さい。

日本地域包括ケア学会ホームページ：<http://chiikihokatsucare.com/>

そ の 他：本大会にご参加の先生は日医生涯教育制度 CC(10.12.13)、3単位が取得できます。（※「ZOOM ウェビナー」で参加される方は当日視聴し、大会後、学会事務局よりお送りするアンケートにご回答ください。大会当日に視聴したログの確認をいたしまして、後日、学会事務局より参加証を郵送いたします。会場でご参加の方は当日参加証を交付いたします）

以上

第5回大会

2023/12/17 (Sun)

13:30-17:30
START END

日本地域包括 ケア学会

Japan Society of Community Based Integrated Care

ハイブリッド開催

<参加方法>

- ・オンライン参加 (ZOOM ウェビナー)
- ・会場参加 (日本医師会館 小講堂) ※定員 100 名

2024年度同時改定とその後の地域包括ケアシステム構築

学会スケジュール

開会式 (13:30)	開会挨拶 田中 滋氏(日本地域包括ケア学会 理事長) 来賓挨拶 松本 吉郎氏(日本医師会 会長)
基調講演 (13:40)	「地域包括ケアシステムの具体化について」 座長 鈴木 邦彦氏(日本地域包括ケア学会事務局長) 講演 松田 晋哉氏(日本地域包括ケア学会副理事長)
シンポジウム① (14:45)	「介護側が期待する医療との連携強化」 座長 田中 滋氏(日本地域包括ケア学会理事長) シンポジスト 江澤 和彦氏(日本医師会 常任理事) 東 憲太郎氏(全国老人保健施設協会 会長) 大山 知子氏(全国老人福祉施設協議会 会長) 柴口 里則氏(日本介護支援専門員協会 会長)
シンポジウム② (16:00)	「地域包括ケアにおける多職種連携 ～リハビリ・口腔・栄養の一体的提供～」 座長 猪口 雄二氏(全日本病院協会 会長) シンポジスト 高橋 英登氏(日本歯科医師会 会長) 高橋 弘枝氏(日本看護協会 会長) 中村 丁次氏(日本栄養士会 代表理事長) 斉藤 秀之氏(日本理学療法士協会 会長)
総括 (17:10)	松田 晋哉氏(日本地域包括ケア学会 副理事長)
閉会式(17:25)	終了(17:30)

お問合せ

日本地域包括ケア学会運営事務局
医療法人博仁会志村大宮病院内

TEL.0295-53-2170

- 学会参加費:1,000円(手数料・税込)
- 本学会は感染症予防、防止のため会場での参加者数を制限しております。
会場での参加者定員を超える場合は、オンラインでの視聴となります。

共催：日本医師会 後援：厚生労働省

第5回大会

日本地域包括ケア学会

2024年度同時改定とその後の地域包括ケアシステム構築

2023/12/17/(Sun) 13:30-17:30

※会場・オンライン参加のいずれも、下記Peatixサイトからの事前申込となります。

お申込み

下記URLまたは記載のQRコードからお申込みください。

申込専用URL

<https://houkatsu-care2023.peatix.com>

受付締切は
令和5年
12月12日
です



お申込みはPeatixサイトにて受け付けております。Peatixでのお申込みにはPeatixアカウント登録が必要になります。また参加費のお支払いはクレジットカードやコンビニエンスストアでの支払いとなります。詳細はPeatixサイトにてご確認ください。



基調講演

「地域包括ケアシステムの具体化について」

地域包括ケアシステムは「地域、個人、家族が平均像として捉えることができない多面的な社会になること」「地域ごとの格差が拡大していく」ことを前提としているため、全国一律ではなく地域の実情にあった仕組みをデザインすることが求められている。その結果、地域包括ケアシステムの将来像を思い描くことが難しいと感じている地域も多く存在し、取り組みにも差が出てきている。基調講演では全国で取り組まれている先進的な地域包括ケアシステムの姿を具体的に提示し、各地域で実現するべき姿を明らかにしていく。

シンポジウム①

「介護側が期待する医療との連携強化」

地域包括ケアシステムを構築するために「在宅医療」や「在宅介護」、「医療・介護連携」を強化する取り組みが行われている。しかし「医療・介護連携」とは医療と介護がバラバラに存在することを示す表現であり、2040年までには医療と介護はより「統合」され「多職種連携によるチームケア」となること求められている。本シンポジウムでは特に介護側から期待する医療との連携を明らかにし、医療と介護の「統合」を見据えた取り組みについて検証していく。

シンポジウム②

「地域包括ケアにおける多職種連携 ～リハビリ・口腔・栄養の一体的提供～」

高齢者の自立支援・重度化防止のためには看護師による「病状の経過観察や全身状態の管理」のほかに、歯科医師や歯科衛生士による「口腔機能管理」、管理栄養士による「栄養管理」、リハビリテーション専門職による「嚥下・摂食機能訓練」が一体的に提供されることが重要であり、2024年度の診療報酬改定・介護報酬改定では、リハビリ・口腔・栄養の一体的提供をさらに促進していくことが検討されている。本シンポジウムでは各職能団体より、具体的な取り組みや一体的に提供される効果について報告するとともに、より強化された連携のあり方について明らかにしていく。

★本大会は日本医師会生涯教育講座として認定されております。

本大会は日本医師会生涯教育講座として認定されております。日医生涯教育制度CC(10.12.13)、3単位。

参加証を希望される方は「ZOOMウェビナー」で当日視聴し、大会後お送りするアンケートにご回答ください。

※大会当日に視聴をしたログの確認をいたします。ログの確認ができない場合、

恐れ入りますが参加証の交付はできませんのでご了承ください。後日、事務局より参加証を郵送いたします。

※会場でご参加の方は、当日、参加証を交付いたします。

医師以外の職種で受講証明書をご希望の方は、大会視聴後にお送りするアンケートにご回答ください。

受講証明書を後日、事務局より郵送いたします。

●学会に関するお問合せ：日本地域包括ケア学会運営事務局 0295-53-2170